

針原地区社会福祉協議会の状況

令和5年8月現在

設立年月

平成17年4月1日

会 長	東 狐 幸 夫		副会長	藤井健一、上野武志、西田和人	
事務局 所在地	地区センター内 ・ 公民館内 ・ その他（会長、事務局長宅等） ○をお願いします				
事務局 TEL	076-451-2555	事務局 FAX	076-452-9061	事務担当	堀 謙治
人 口	4,022 人	世帯数	1,776 世帯	高齢化率	32.7 %
当年度 予算額	2,044,000 円	年間会費 (1世帯)	0 円	※R5年3月末65歳以上対象 富山市統計より	
主な活動等	1. ケアネット活動（随時）				
	(1) 見守り活動				
	民生委員を中心にして、一人暮らしの高齢者を対象に近所の人達と協力して見守り活動を実施している。また、新任の町内会長には会合時趣旨を説明し、新規募集を新規募集を呼びかけ、民生委員と協力しながら連絡をとりあい支援体制を築いている。				
	(2) 福祉マップ				
	会合時、各町内会長に福祉マップの加筆訂正をお願いし、完了後福祉マップの更新を行い、援助を必要としている人達を確実に把握している。				
主な活動等	(3) 命のバトン				
	平成27年からの継続事業で、現在約400名弱の方が利用しており各町内回覧にて参加案内し、新規参加者にバトンを渡し参加者を把握している。				
	2. 生活支援（配食サービス年2回実施）				
	生活支援事業の中で、いきいきクラブ啓発活動として現在約60余名の方が参加しています。いきいき会食会は、コロナウィルス感染防止の為中止しているが、それに近い活動として配食サービスを年2回（6, 10月）に実施して参加者との交流を図っている。また、今年も昨年同様安全なまちづくり推進協議会の取り組み、「カギかけ運動」さらに「特殊詐欺被害ゼロ地区運動」にも協力し、啓発支援資材のひとつポケットティッシュを同時に配布した。				
	3. ふれあい朝市（毎週1回 水曜日）				
主な活動等	6月7日から12月中旬頃まで、「ふれあい朝市」を針原新町公民館で地元の方々が作った新鮮な野菜等の販売をしながら地域住民との交流を図っている。				
	4. 広報誌の作成（年1回）				
	針原地区社協役員から活動内容の報告、苦労話や喜びの声を全戸配布している。				
					
					
主な活動等					
	<ふれあい朝市>				
	<ふれあい朝市>				
	<配食サービス>				
	会長の メッセージ	針原地区は高齢化率が高く、中でも在宅一人暮らしの高齢者（特に市営住宅在住者）が多く日常の見守りが不可欠なため、当地区では継続事業としてケアネット（見守り）、福祉マップ、命のバトン、生活支援、行事としては敬老の集い、健康ふれあいまつり等を実施している。			